



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第102号

2013年6月発行

発行者・代表 三輪 覚子
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8
[http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

新年度のごあいさつ

皆様、いつもご協力ありがとうございます。

引き続き会長として、役員の方々と一緒に会をまとめる担当となりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度も例会を毎月第4土曜日の午後で開催する予定です。年間を通しての連続性を持たせたテーマは事前に設定しましたが、毎回参加者全員から感想と次回への要望を聞き、その都度具体的な内容を組み立てていくという進め方で全10回の例会を考えています。

会員の皆様が、今一番聞きたい・知りたいと思っていることに添うものにしたいというのが目的です。交流会に、学習もプラスした例会にしましょう。

4月総会の時点では会員数22名（継続18・新規4）でスタートし、6月現在35名となりました。さらに会員募集中です。

人数だけを見ると小さな会ですが、それをメリットにして、皆の声が活かされ、皆で考え、一人だけで悩むことがないよう共に助け合える仲間の集まりになるように、どうぞ力を貸してください。



同じ立場の親同士で学びあえる」親の会の基本を大切に活動を進めていきたいと思っています。

三輪覚子



年間カレンダー



平成25年度けやき例会の計画

毎月第4土曜日の午後、立川市・国立市周辺の会場で開催する予定です。会員の皆様には例会案内を郵送します。新規入会や見学希望の方は詳細をHPにて掲載していますので、事前にご確認の上、直接会場にお越しください。

月・日・時間	活動名	内容(テーマ)
4・27(土) 13:00～17:00	総会	①こんな時どうするの～生活の中の困りごと～ 対応方法や解決事例、経験談、アイデアなどを聞かせて
5・25(土) 13:00～16:30	5月例会	②地域にある相談・支援機関、利用できる制度について学ぼう 知っているようで知らない、知っておきたい用語の基礎知識
6・22(土) 13:00～16:30	6月例会 機関紙発送作業	③作業しながらの情報交換・近況報告
6・29(土) 13:00～17:00	お父さんの勉強会	「制度を通して、子育てを考えてみる」
7・27(土) 13:00～17:00	7月例会	④将来の姿を想像して考えてみよう 親自身の生活設計もふくめたきっかけになるサポート表を作る
8・24(土) 13:00～17:00	8月役員会	LD学会用ポスター作り
9・28(土) 13:00～17:00	9月例会	⑤7月交流会での話題・問題点を、アドバイザーを交えてQ&A
10・26(土) 13:00～17:00	10月例会 機関紙発送作業	⑥作業しながらの情報交換・近況報告
11・23(土) 13:00～17:00	11月例会	⑦集団の中での生活を考えよう 学校や職場などでは、どんな工夫をしていますか
12・21(土) 13:00～17:00	12月役員会	忘年会
1・25(土) 13:00～17:00	1月例会	⑧親亡き後をかながえるⅠ 福祉制度や第三者に託すために、 今から取り組むこと・知りたいこと
2・22(土) 13:00～17:00	2月例会	⑨親亡き後をかながえるⅡ 1月交流会での話題・問題点を、 アドバイザーも交えて掘り下げる
3・22(土) 13:00～17:00	機関紙発送作業 午後3月役員会	⑩午前中の作業では会員交流(近況報告など)

けやき総会報告



4月27日（土）東京都多摩障害者スポーツセンターにて、平成25年度LD等発達障害児・者親の会「けやき」総会を、当日参加者19名にて開催しました。

浅井議長の進行により、平成24年度活動報告、会計報告、会計監査報告および平成25年度活動方針、新役員承認、活動計画予算について審議の上、すべて承認されました。

総会後の交流会では、こんなときどうするの～生活の中の困りごと～をテーマに話し合いました。今年度は、会員数を増やすため特別なことをするのではなく、現会員の交流を第一の活動方針としてスタートすることになり、この日の交流会がその第一回目となりました。事前に配布した用紙に「今、困っていること」を記入していただき、それをもとに3グループに分かれて、親としてどう対応したらいいのかを話し合いました。その一部を紹介しますと、

- ・本人ががんばればできるという思いと、やってもやってもできないことの間で悩んでいる・身支度ができない・読み書きができない・高校生だが、昼夜逆転の生活をしている等の悩みに、親のかかわり方として、
- ・いろいろなツールを利用する・一つでもできたらほめる・来週からは手伝わないと宣言して、だんだんと自分でやらせていくとよい・学校や地域によって差があるが、放課後勉強を見てくれた学校もある・まずは生活の立て直しからなど、様々な意見が寄せられました。特効薬はないかもしれませんが、親が明るく前向きになることで子どもも変わっていくように思います。まずは心の重荷を下ろしにけやきに足を運んでみてください。



まつい

5月例会報告

けやきは今年度、年間テーマを通し、交流会を中心にした活動を行っています。

5月の例会（H25/5/25（土））参加者は20名。4月の交流会の中でも知りたい情報としてあげられていた「地域にある相談・支援機関、利用できる制度について学ぼう」をテーマに、話し合いました。

資料を基に、自分が住んでいる地域の支援機関について、利用しているの情報や、お子さんの現状について、参加者一人ひとりが発言し、一緒に考える場となりました。

下記は、参加者からの感想を抜粋しました。

- ・就労している人、それに向けて考えている人・動いている人それぞれの話を聞いて良かった。
- ・子に対する接し方等、忘れていた基本を改めて教えてもらえました。
- ・自分の生活の場（地域）に、どの様な支援・制度があるのかを知ることが大事。

- ・本人が自分の障害（困難さ）を知ることが大事だと、改めて共有できた。
- ・高校生の息子にとり就労までの道は選択の余地がある分、迷うものです。今日は良いアドバイスをたくさん頂きました。
- ・皆さんの率直な意見や体験談を聞くことができて、とても良かったです。
- ・あいまいで分からなかったことを教えて頂き、よかったです。また、知っていたことでも、さらに深く知り得て、よかったです。
- ・目から鱗の話が伺えて、勉強させていただきました。
- ・お子さん方の就労状況をお伺いすることができて、参考になりました。
- ・皆さんのお話を聞かせていただき、気付くことがたくさんありました。等々。

瀧澤



全国LD親の会総会報告

特定非営利活動法人全国LD親の会第6回総会は、6月8日（土）大阪ドーンセンターパフォーマンススペースにて開催され、第1号議案～第3号議案決議、および理事会報告が行われました。

全国各地の親の会から会員たちが集まり、普段はお互いの会報のやりとりで情報交換をしている仲間たちと、年に一度顔を合わせて話をするのできる貴重な場でもあります。

内藤理事長からは挨拶や平成24年度事業報告の中で、全国LD親の会が「アジア太平洋障害者の十年（2003～2012年）」最終年記念の障害者関係功労者として表彰されたことの報告があり、会場には表彰状と記念品の盾も掲示されていました。

さらにその報告において、教育面・福祉面ともに制度や状況の動きが大きく速いことを取り上げ、自分たちの子どもに関することが、知らないうちに変化していることのないように、常に関心を向け、学んでいることの重要性を強く話されました。

平成25年度役員を選任も可決され、関東ブロックからは埼玉「麦」木村さん、東京「にんじん村」内藤さんのお二人に、評議員として活動していただけることになりました。

また、会場後方の壁面いっぱい、「クリエイター」たちの作品が多数出品・掲示されていて心を和ませてくれました。

三輪



全国LD親の会 研修会に参加して

【トークセッション】 テーマ：「誰もが自己表現できる社会を目指して」

総会終了後、引きつづき研修会に参加し、近藤武夫さん（東京大・先端科学研究センター准教授）と齊藤真拓さん（鳥取大学・地域学部2年）のお二人のトークセッションを聞かせていただいた。

近藤さんが所属する先端科学研究センターは、障害や病気等で困難を抱える人への進学や就労を支援し、将来の社会のリーダーとなる人材を育てることを目的に、プログラム『DO二IT Japan』を立ち上げ、参加者の学習へのサポートと高等教育への進学等の実績を積み重ねてきた。

齋藤さんは、7年ほど前からこのプログラムに参加。ご自身の障害である「ディスレクシア（文字の読み書き学習に困難を抱える障害）」を、パソコン等の機器・ソフトを使用することで乗り越えて大学進学を果たし、現在鳥取大学に在学中である。

齋藤さんの個性によるところも大きいと思うのだが、障害があっても後ろ向きになることもなく、彼の前向きなトークと考え方を聞き、「頑張っているなあ」と素直に嬉しくなった。自信回復力、自己学習力、セルフ・アドボカシー（自己権利擁護）力など、今後社会生活を営んでいく上で自己表現に必要な様々な力を、このプログラムを通し培い得ることができたのだろうと感じた。

K. M

東京LD親の会連絡会報告

平成25年度 東京LD親の会連絡会総会が、5月26日（日）世田谷「下北沢らぶらす」で開催されました。にんじん村4名、けやき6名の参加があり、平成24年度活動報告・会計報告および会計監査報告について拍手で承認されました。

平成25年度の活動については、全員で意見交換しながら討議を深め、引き続き東京都への要望書提出に向けて準備を開始するようになりました。

例年、東京都からは要望に対して丁寧な回答を得ていますが、さらに会員の声が届くよう、内容を検討していきたいと思っておりますのでご協力ください。

小形



自主グループ活動報告



ポーレポーレ

二十代周辺の青年、成人の余暇活動の会です。メンバーが小・中学生くらいの頃から活動が始まりました。どこそこ、対人関係が苦手な人たちですから、会が始まった頃は会話もうまくできませんでしたし、一緒にいても遊ぶ雰囲気ありませんでした。ですが、ボランティアさんがメンバーの間をうまくつないでくれたので、ゆっくりゆっくり安心できる場所、楽しい場所として育ってきました。

新しい参加者が来ても、上手に誘って友達になることはメンバーには難しい場合もあります。でも、ポーレポーレには楽しい活動が毎回ありますので、時間をかけてゆっくりゆっくり仲間になってください。居場所となるお手伝いをボランティアさんがしてくれます。スワヒリ語のポーレポーレという名前の通り、ゆっくりゆっくりと。活動は毎月1回、例外もありますが第2日曜日、話し合いや調理は国立市で行っています。参加したい方は代表者までご連絡くださいね。

今年の活動は次の通りです。

- 4月14日 室内にて近況報告、ゲーム、今後の計画
- 5月12日 高幡不動散歩
- 6月16日 西武球場にて野球観戦
- 7月14日 調理（カレーとナン）
- 8月11日 映画鑑賞
- 9月 8日 今後の計画
- 10月13日 高尾山登山
- 11月10日 調理（鍋料理）
- 12月 カラオケとボーリング（立川） 日程は未定

（ポーレポーレ代表）



つくし

昨年はペアレント・トレーニングについて、学習しましたが、今年度は、子どもの日常生活の中での困りごとについて話し合っています。子どもの生活の具体的な行動から、子どもの認知の特性との関連を考えて行こうと、親だけではとても難しい内容をやろうとしています。

4月・5月と参加者が少なく、話し合いが上手く進んでいませんが、具体的な子どもの行動を出しながら、話し合っています。

T. T

美術館を出ると広場があり、様々な草木の中にバラが正に見頃を迎えていました。色取り取りのバラを眺め、香りに包まれて、元気が更にアップ。恵まれた一日となりました。

(M N)

トピックス



平成25年度第1回東京都特別支援教育担当指導主事連絡協議会が4月30日に開催されました。

当協議会において「障害を持つ児童・生徒への理解・支援・配慮について」の情報提供の時間をいただきましたので、渉外担当として参加しました。

LDを持つお子さんに多い、教室の中で見落とされがちな大人しく・目立たない子どもたちにも支援と工夫が必要であること。また、多感な中学生に向けた個別指導への配慮がほしいこと、地域格差のない支援の充実等々、実情を紹介しながら情報提供しました。

LD等発達障害について理解をいただける場があれば、資料を用意し、もっと詳しく情報提供したいと思いました。

会員を募集しています



新規入会 会員募集中！

「けやき」では、年間を通して入会を受け付けています

※入会金 2000円（初年度のみ）

※年会費 5500円

※活動日の会場に直接お出ください。

詳しい日時・場所はホームページにてご案内しています。

（かならず事前にお確かめください）

※賛助会員・通信会員・ボランティア会員も募集しています。

【編集後記】

親の会とは「何だろう」「どのような立ち位置なのか」と考えることが多くなってきました。また、子供に対して私が今までやってきたことが良かったのかどうかを考えることがあります。しかし、「けやき」で色々な話が聞けることで迷いが軽減し、大変助かっています。

T. M